

Gold-QPD の事前学習とコース全般に関するアンケート結果（第 8～11 期生）

去る 12 月はじめに行ったアンケートにご協力いただき有難うございます。

これまでに収録した結果をご報告いたします。第 1～7 期生にも参考のため結果をお知らせいたします。

回答合計 21

第 8 期生	4
第 9 期生	6
第 10 期生	5
第 11 期生	6
有効回答	20（回答不適のため除外 1）

まとめ

アンケートを回収した全受講生の

100%が、ブロンズ・シルバーコースの内容についてほぼ満足したと称賛した。

90%が、事前学習〔Gold-QPDmooc〕を体験し予習効果が多いにあったと表明した。

90%が、事前学習を受講できる期間（原則 3 ヶ月）の延長を望んだ。

60%は、事前学習を複数回にわたり見直して勉強した。

50%は、ノバセルの情報を通勤中などに見た。残り半数は存在を知らなかった。

結論

Gold-QPD 育成講座の反転授業の内容は、全員にほぼ満足行くものであった。

〔Gold-QPDmooc〕の学習効果は明らかで、今後も継続する価値があると確認した。

その放映期間など、応用法の細部については再考の余地がある。

課題

アンケート以外にもこれまでに寄せられたコメントには共通性があった。

- 1) 鍼灸院に認知症患者は通常来ない。そのため三焦鍼法を応用する機会が無い。
- 2) 認知症患者さんを集める方策が無い。社団で援助してくれないのか？
(講義でも強調した「三焦鍼法は本来健康長寿」が目的です。再認識が必要でしょう。
ゴールドコースの報告症例には、認知症ないし MCI 患者 1 名を含み他 4 名です。)
- 3) タイトルの認知症 Gold-QPD 育成講座の「認知症」より「抗加齢」が良いとの意見もあった。
- 4) 卒後教育や研修後のフォローをより丁寧に活発にして欲しいとの訴えがあった。
- 5) ブロンズコースの実施法を再考し、学生にも一定の受講準備資格を授与して欲しい。

社団における今後の具体的取り組み

- 1) 三焦鍼法は認知症だけではなくより広範に適用する刺鍼法でありその事実を告知する。
- 2) 認知症 Gold-QPD 育成講座の名称については、来年の 10 周年目に当たり再考する。
- 3) 卒後教育としてだけでなく、鍼灸師卒前教育としての可能性をさぐり解決策を見出す。
- 4) Gold-QPD ブロンズの実行法（場所、時期、時間）や学習内容について再考する。
- 5) その他、認定評価委員会にて抜本的に検討することをお約束します。

平成 30 年 12 月 15 日

一般社団法人老人病研究会 川並 汪一